

真理子先生の

# 女性のきかた

## 妊娠を望まれている方へ③



伊藤 真理子

● (いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

今回は妊娠を望んでいてもなかなか叶わない方に検査のあれこれをお話しします。

### 基本は基礎体温の測定

基本は「基礎体温」を把握すること。毎日きちんと測定し、グラフにして自分の排卵日を把握しておくことは卵子と精子の出会いを助けることにもなります。

排卵日をより正確にかむには「排卵日チェック」がお勧め。脳下垂体から出る黄体刺激ホルモンは排卵日の前日ごろに分泌のピークをつくり、そのピークを尿で調べるチェック数種類がドラッグストアなどで市販されています。

### 子宮卵管造影検査

卵巣から排出された卵子は卵管に取り込まれ、子宮に入ってきた精子と出会います。ですが、子宮内膜症やクラミジアなど卵管に癒着など通りが悪くなる異常があれば卵子と精子は出会うことができません。

その卵管の状態を調べるのが「子宮卵管造影検査」です。この検査で両側の卵管が完全に閉塞していることが分ければ体外受精などの治療が必要になりますが、軽い閉塞ならこの検査で閉塞が取れたり今まで以上に通りが良くなったりします。

つまり治療を兼ねた検査とも言え、この検査の後に妊娠する方も多くいらつしやいます。レントゲン検査なので妊娠の可能性のない月経直後に行います。

### ヒューナーテスト

排卵日が近づくとおりものが透明でサラつとし

た状態になります。精子が子宮に入りやすくするための自然の摂理で、この状態の時のおりものを顕微鏡で調べるのが「ヒューナーテスト」です。精子が元気に泳いでいればまずは安心です。

### 人生いろいろ、検査も

おりものを乾かして顕微鏡で見ると排卵日近くにはシダ状に変化します。唾液でその変化を調べるキットもあります。検査もいろいろですね。

